

## 「介護人材」の名称変更について（案）

### 1 趣旨

平成22年10月に、専門タスク・フォースにおいて、実践キャリア・アップ戦略の第1次プラン対象の一つとして、「介護人材」が選定され、具体的な制度設計に関し、平成22年12月以降「介護人材WG」で検討を行ってきたところ。本格実施を来年度に控え、今後、制度の普及浸透が大変重要となるところ、WGの名称について、認定の際の名称も念頭に、レベル認定を受けた人材を的確に表す名称に変更することとする。

WGの名称「            WG」 認定の際「            レベル4」

### 2 新しい名称について

#### （1）留意点

既存の資格制度と異なり、現場で実際にどういうことが「できる」か（実践的スキル）が評価された人材であること。

在宅介護・施設介護を通じた汎用性のある能力が評価された人材であること。

キャリア段位制度は、エントリーレベルからプロレベルまでのキャリアパスを見せる制度であること。

#### <参考>他の2分野の名称

カーボンマネージャー（「カーボンマネジメント人材」から変更）

食の6次産業化プロデューサー（「6次産業化人材」から変更）

#### （2）具体的な案

案1 実践介護職

案2 介護職

なお、既存の用語との区別のため、表記については、例えば「キャリア段位・介護職 レベル3」等とすることが考えられる。

介護報酬の算定基準等においては、「介護職員」、「訪問介護員」、「介護従業者」等の用語が使われている。